

1. ある日イエス様は、山の上で、多くの人たちに神様のお話をしていました。
2. そこには、イエス様のお弟子さんのアンデレさんとペテロさんの兄弟もいました。

アンデレ「すごい人数だなあ、何人くらいいるのかな？」

ペテロ 「5千人以上いるらしいよ。みんなイエス様のお話を聞きたいんだなあ」

3. ところが、あんまり夢中になってイエス様のお話しを聞き続けていたので、お昼の時間も過ぎてしまいました。

男「ああ、お腹がすいたなあ・・・」

女「そうねえ、お腹がペッコペコよお・・・」

4. そこへ一人の少年が、自分のお弁当を持ってやってきました。

少年 「イエス様のお弟子さんたち、ボクのお弁当をみんなにわけてあげてよ！ 五つのパンと二匹の魚があるんだよ。」

アンデレ「そりゃ気持ちは嬉しいけど、たったそれだけじゃ、全然足りないよ・・・」

5. アンデレ「魚が二匹って、クジラが二匹あるわけじゃないだろ？ パンだって、でっかいパンが五つもあればいいけどさあ・・・」

6. そうです、少年の持っていたのは、普通のパン五つと、普通の魚が二匹でした・・・。

7. でもアンデレさんは、イエス様のもとにそれを持っていったのです。

8. そうしたらイエス様は、何とそれを全員に分けてあげたのです！ 不思議だよねえ～！！

9. 男「いや～、もうお腹いっぱいだよ！」

女「あたしもお腹いっぱい。また太っちゃうわあ～、オッホッホッホ」

10. ペテロさんもアンデレさんも、「さすがイエス様！」と、感激したのです。

11. そして、それからしばらくして・・・

12. イエス様はお祈りするために、山に登られることになりました。

13. イエス様がお祈りをしていましたが、ペテロさんやアンデレさん、そして他のお弟子さんたちは、船で湖を渡ることになりました。ペテロさんやアンデレさんは上機嫌。それもそのはず、ペテロさんもアンデレさんも、海で仕事をする漁師さんだったのです。

14. でも、何だか曇り空になってきたみたい……。さすがのペテロさんも、ちょっと不安そうですね。そうしているうちに、ますます天気が悪くなって行って……。

15. 「うわ～、助けてえ～～～～～！」

すっごい嵐になってしまいました!! 船はもう壊れてしまいそう。漁師のペテロさんやアンデレさんでも、どうにも出来ません。と、その時……

16. 「ぎゃあああああああ～！ お、お、お化けえええええええ～～～～～!!」

17. 「た～すけてえ～～～～～～～！！！！！！！！」 ……でもよく見たら

18. そう、イエス様でした！ イエス様は、水の上を歩いて渡ってきてくださったんです。

19. ペテロ「イエス様、来てくださったんですね！ それじゃ、私も海の上を歩いて、そこへ行きたいです～！！」

イエス様「そうかい、それじゃ、歩いておいで。」

20. ペテロ「イエス様、今すぐにそこへ行きますからね。待っててくださいよお。」

21. ペテロ「あれ？ オイラは今どこにいるんだ？ あれ？ ここは海の上じゃないかっ！？」

22. そう思ったとたん、ペテロは水の中に、どっぽ～っん…と落ちてしまいました。

23. イエス様は「なぜ疑ったんだい？」と優しくおっしゃると、手を伸ばして、ペテロさんを助けてくださいました。

24. 五つのパンと二匹の魚の出来事、そしてこの嵐の出来事を通して、弟子たちはもっともっとイエス様のことを信じることができました。

25. イエス様は、こうおっしゃいました。

「イエスは言われた。『わたしがいのちのパンです。』」ヨハネ 6：35

お腹がすいている時にパンを食べれば、お腹いっぱい、元気になるよね。イエス様は、そのパンのようなお方です。私たちの心に嬉しい気持ちがなくなって、空っぽになってしまっているようなそんな時、イエス様はその心をお腹いっぱいにしてくださるお方なんです。

この素晴らしいイエス様の恵みは、いつでもみんなの心に注がれているんですよ。 おしまい。